

開校準備だより

発行 (仮称)千代田中学校区義務教育学校
開校準備委員会
教育委員会事務局学校教育課内
〒300-0192 かすみがうら市大和田 562
TEL 029-897-1111 FAX 029-897-0992

校歌、スクールバス運行ルートが決定

校章・制服・体操服についても協議進む

義務教育学校の校歌およびスクールバス運行ルートについて、第3回開校準備委員会で決定しました。

協議内容としては、校歌は新たに制作せず、既存の千代田中学校校歌とすることで意見決定、スクールバス運行ルートについては、小学校毎の停留所案の希望を基に5つのルートとすることで意見決定されました。

また、校章・制服・体操服については、選定方法が決定したため、運営検討委員会にて継続協議していきます。廃校の跡地利用についても、市行財政改革・公共施設等マネジメント推進室と連携し、開校準備委員会で協議を進めていきます。

校歌について

<p>三 ゆたけき郷のめぐみうけ 明るき窓に 土香り 友どおり 友とはげむとき 教はつねに 新たなり われら千代田の まなびや うれし</p>	<p>二 そびゆる筑波 雲白く ときわの松の 緑映え 友どおり 友と歌うとき ゆく手はひらけ 希望あり われら千代田の まなびや きよし</p>	<p>一 明けゆく常陸 新治の 四万騎の原に 風清く 友どおり 友と学ぶとき 光は丘に 満つるなり われら千代田の まなびや たのし</p>	<p>校歌</p> <p>作詞 片桐顕智 作曲 細谷一郎</p>
---	--	--	---

校歌については、第3回運営検討委員会で選定方法の協議を行い、参加委員の意見として「校名に『千代田』という名称が使用されることは、今までの歴史ひいては現在の親世代と子ども世代の繋がりを残すことができるので、千代田中学校校歌のままが良い」との意見や「すべて新しくしてしまうのはどうなのか」という意見がありました。

これらの意見を踏まえ、校歌を新たに制作せず、既存の千代田中学校校歌とすることになりました。

千代田中学校校歌

【経歴】

◆片桐顕智(作詞者)

1909年長野県生まれ。
1935年東京帝国大学文学部国文科卒。日本放送協会に勤務。
1960年総合放送文化研究所所長。1952年『NHK短歌』を創刊。
1966年跡見学園女子大学教授。

◆細谷一郎(作曲者)

1904年茨城県生まれ。
1921年から山田耕作に師事。昭和初期の「コドモノクニ」(日本を代表する絵雑誌)に作曲家として参加。
戦後はNHKの学校放送・音楽教育番組を担当し、「たかいたかい」など著名な童謡や校歌を多く残す。

校章・制服・体操服、廃校の跡地利用について

校章・制服・体操服についても、第3回運営検討委員会で選定方法の協議を行い、校章は専門業者に数点のデザイン案を作成依頼し、その後選定していくこと、制服・体操服は複数の取扱業者によるプレゼンテーションを実施し、取扱業者やデザイン等について継続協議していくことになりました。

廃校の跡地利用については、第3回開校準備委員会で市行財政改革・公共施設等マネジメント推進室を招き、廃校に関する現状や霞ヶ浦地区の先進事例の取り組み内容について説明を受け、今後は同室も連携して開校準備委員会で継続協議していくことになりました。

スクールバス運行ルートについて

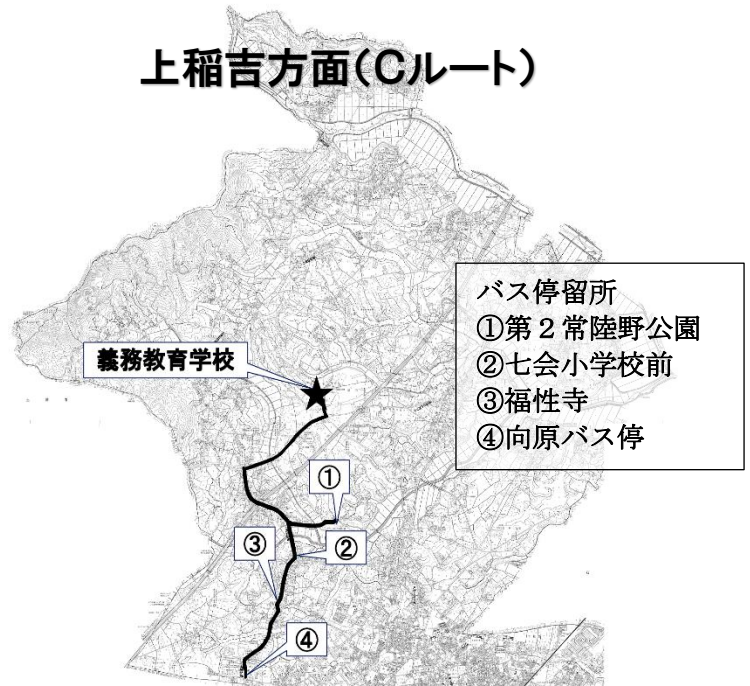
スクールバス運行ルートにつきましては、9月下旬から10月上旬にかけて小学校毎に説明会を実施し、学校のPTA、子ども会、通学班毎に停留所案を選定いただきました。

その選定結果を基に協議し、以下の5つのルートとすることに決定しました。

また、スクールバスの利用については、原則、通学距離が2km以上の児童が対象となるが、2km未満であっても指定の停留所を利用することで乗車は可能となっております。

なお、バス停留所は令和4年度からのバス利用児童によって変更になる場合があります。

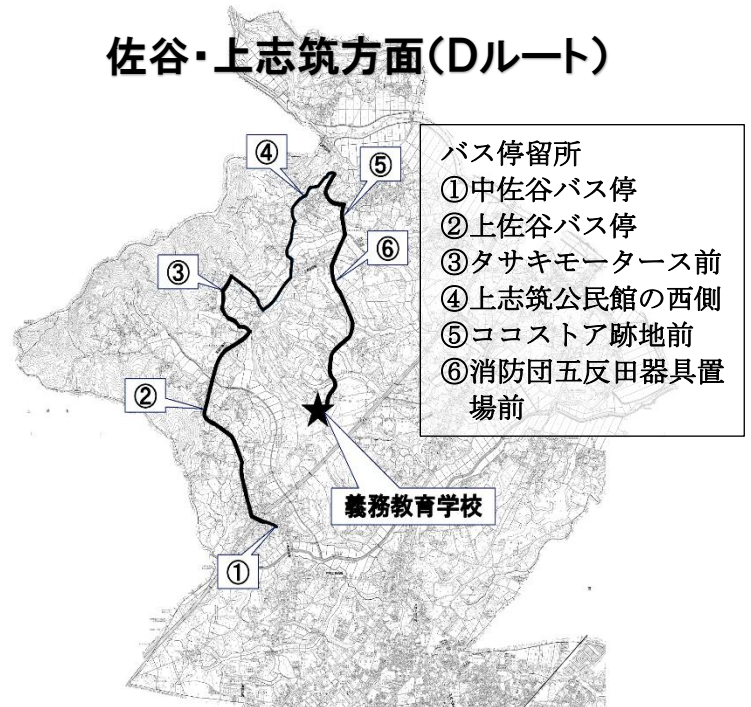
上稲吉方面(Cルート)



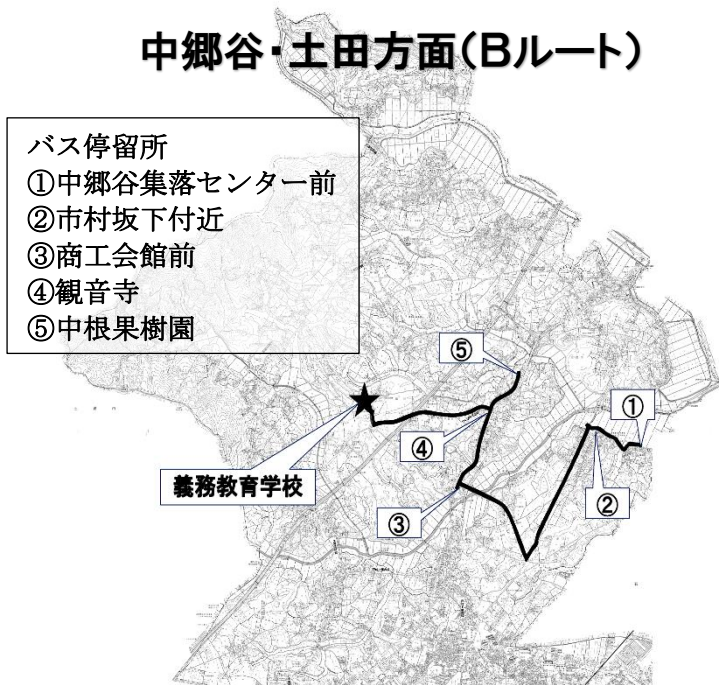
市川・野寺方面(Aルート)



佐谷・上志筑方面(Dルート)



中郷谷・土田方面(Bルート)



志筑方面(Eルート)

